校内研修計画　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　山梨市立　岩手小学校

１　学校課題

本校は少人数校であり，教師の個別指導が行き届く反面，児童の主体的な学習につながりにくい。また，意見の表出の機会や互いに意見を交流する場面が少なく，自己肯定感，自己有用感を持ちにくい傾向が以前からあった。昨年度行われた学校評価の結果では，以前から懸念されていた①主体的な学習（家庭学習や自主学習）ができていない。②自分の考えに自信を持ち，表出することが苦手である。③読書の習慣化と読書活動ができていないことが明らかになっている。

２　研究主題

学校課題を解決し，『主体的・対話的で深い学び』をめざした授業改善の実践

３　主題設定の理由

前年度まで，校内研究の主題として『自ら考えをもち，幅を広げ，深めるための指導の工夫～「学び」にＩＣＴ機器の活用を取り入れた授業づくりをとおして～』を設定し，研究を積み重ねてきた。これまでの研究から，主体的に学ぶための論理的思考の有用性を改めて実感するとともに，コミュニケーションをはじめとした互いの関わり合いの必要性も感じられていた。そのため，主体的な学びや自他の考えを比較して考えを広げる対話的な学び、学んだことを問題解決に生かす深い学びを展開していくための一つのツールとしてＩＣＴ機器の活用を取り入れてきた。そして，「言語能力」と「情報活用能力」のさらなる育成をしていくことに焦点をあててきた。

そこで今年度も，過去３年間の研究をふまえ，児童がより論理的に思考し，互いの考えを交流させながら創造的に問題解決していくことができるよう，１人１台端末などのＩＣＴ環境をより効果的に取り入れた授業づくりを中心に研究を進めていきたい。また，児童一人一人の可能性を最大限に引き出せるよう，学校課題を解決する方策を考え，実践しながら，ＩＣＴ環境を活用した個別最適な学びと，協働的な学びの充実を図り，子どもが主体となる授業づくりを通して，児童が多様な他者と協働したり，自ら自己調整したりして学習を進めていく姿を目指すことで，主体的・対話的で深い学びを充実させていきたいと考え，本研究主題を設定した。

４　研究の目標

（１）学校課題を解決する方策を立案し，実践する。

（２）『主体的・対話的で深い学び』の実践研究による授業改善を図る。

５　研究組織

研究推進委員会

　　　　　　　　　　①家庭学習ＷＧ〔研究主任・ＩＣＴ担当・学級担任〕

　自学発表会の企画・運営　ＡＩドリルの活用

岩手っ子チャレンジカード　等

　　　　　　　　　②キャリア教育ＷＧ〔生活科主任・総合的な学習の時間主任・学級担任〕

校内研

　　　　　　　　　　　岩手っ子成果発表会の企画・運営　等

　　　　　　　　　③読書活動ＷＧ〔図書館主任・司書・学級担任〕

　　　　　　　　　　ビブリオチャレンジの企画・運営　読書時間の確保　等

　　　　　　　　　④授業改善ＷＧ〔学級担任〕

６　研究の方法と具体的内容

児童の実態をふまえ，自己研究をし，日々の実践を積み重ね，授業改善をする。校内における共通財産として研修の場を設ける。

（１）ＷＧによる取組（前記）

（２）一人一実践による授業改善

（全員が校内研のテーマに沿った一実践を行う。可能なかぎり参観し，振り返りを行う。

　　　　　主体的に研修を行い，自身の資質向上を図っていく。）

（３）講師を招聘しての学習会

　　　　（ＡＩドリルの活用法，ＩＣＴ機器を活かした授業づくりなど）

（４）ＯＪＴの取組

（日常的に教員間の相談・共有から，教員としての資質・能力を高めるＯＪＴに発展させる。）

７　研究計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 日 | 曜 | 回 | 主な内容（予定） | 形態 |
| ４ | ３ | 水 | １ | 研修①研究の方向について | 全体 |
|  | 17 | 水 | ２ | 研修②校内研究全体計画について | 全体 |
| ５ | １ | 水 | ３ | 研修③　ＷＧ　個人研究 | ＷＧ・個人　 |
|  | ８ | 水 |  | 教育研究❶　教協春季教研 |  |
|  | 15 | 水 |  | 北中ブロック交流① |  |
|  | 29 | 水 | ４ | 研修④　学習会 | 全体　講師招聘 |
| ６ | 12 | 水 |  | 教育研究❷ |  |
|  | 19 | 水 | ５ | 研修⑤　学習会　 | 全体　講師招聘 |
| ７ | ３ | 水 | ６ | 研修⑥　ＷＧ　個人研究 | ＷＧ・個人 |
| ８ | ６ | 水 |  | 教育講演会・教育研究❸ |  |
|  | 28 | 水 | ７ | 研修⑦　学習会　環流報告 | 全体　講師招聘 |
| ９ | ４ | 水 | ８ | 研修⑧　全国学力学習状況調査結果分析　授業づくり | 全体・個人 |
|  | 11 | 水 |  | 教育研究❹　統一授業研 |  |
|  | 18 | 水 |  | 教育研究❺　秋季教育研究会 |  |
| 10 | 23 | 水 | ９ | 研修⑨　ＷＧ 個人研究 | ＷＧ・個人 |
| 11 | 27 | 水 |  | 北中ブロック交流② | 全体 |
|  | 28 | 木 | 10 | 研修⑩　実践報告① | 全体 |
| １ | 15 | 水 |  | 教育研究❻ |  |
|  | 22 | 水 | 11 | 研修⑪　研究紀要について，実践報告② | 全体 |
|  | 29 | 水 |  | 教育研究❼　統一授業研 |  |
| ２ | 12 | 水 |  | 教育研究❽　冬季教研 |  |
|  | 19 | 水 | 12 | 研修⑫　研究のまとめ，来年度の研究の方向について　 | 全体 |

* この計画以外に，ＷＧの取組時間をＷＧごとに設ける。

　（研究主任　加々美　教子）